

健保適用!

口内炎、急性歯肉炎、 舌炎、口腔創傷治療の**(処方)投薬**に

含嗽液の新たな選択肢。

キク科植物カミツレの有効成分アズレンが
患部の炎症を鎮めると同時に、
傷んだ粘膜を再生・修復します。



瞬時に広がる
リフレッシュブルー!



アズレン含嗽液

アズレイ[®]うがい液4%

AZRAY[®] Gargle liquid 4%

アズレンスルホン酸ナトリウム製剤



SHOWA YAKUHIN KAKO CO., LTD.

アズレイ[®]うがい液4%

製品概要	薬効分類名	アズレン含嗽液(洗口うがい剤)
	日本標準商品分類番号	87226
	商品名 和名	アズレイうがい液4%
	洋名	AZRAY Gargle liquid 4%
	一般名	アズレンスルホン酸ナトリウム
	承認番号・年月日	21700AMZ00479000・2005年3月14日
	貯法	遮光、室温保存
	使用期限	外箱に表示(3年)
	発売元	昭和薬品化工株式会社
	製造販売元	協和新薬株式会社
組成・性状	薬価基準収載年月日	2005年7月8日
	販売開始年月日	2005年9月5日
	有効成分 含量(1mL中)	アズレンスルホン酸ナトリウム 40mg
	添加物	ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール、ポリソルベート60、ポリソルベート80、ポビドン、塩化ベンゼトニウム、グリチルリチン酸二カリウム、サッカリンナトリウム、ハッカ油、I-メントール、リン酸水素ナトリウム、無水リン酸二水素ナトリウム、香料、水酸化ナトリウム
	pH	6.5~8.5
効能・効果	性状	濃青色の液で、芳香がある。
	咽頭炎、扁桃炎、口内炎、急性歯肉炎、舌炎、口腔創傷	
用法・用量	アズレンスルホン酸ナトリウムとして、1回4~6mg(4~5滴)を適量(約100mL)の水又は微温湯に溶解し、1日数回含嗽する。なお、年齢、症状により適宜増減する。	
	レセプトコード	620003012
使用上の注意	1.副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。	
	頻度不明 口 腔 口中のあれ、口腔・咽頭の刺激感	
薬効薬理	2.適用上の注意 抜歯後等の口腔創傷の場合、血餅の形成が阻害されると思われる時期には、はげしい洗口を避けさせること。	
	1.ハムスターの実験的口内炎に対する創傷治癒促進効果 ¹⁾ ハムスターの頬囊部粘膜に酢酸を適用し惹起させた口内炎モデルに対し、本剤の800倍希釈液(アズレンスルホン酸ナトリウム0.05mg/mL)は有意な創傷治癒促進効果を示した。 2.ラットの口腔粘膜炎症に対する抑制効果 ²⁾ ラットの口腔内に酢酸を適用し惹起させた口腔粘膜毛細血管透過性亢進モデルに対し、本剤の800倍希釈液(アズレンスルホン酸ナトリウム0.05mg/mL)は有意な血管透過性抑制効果を示した。	
有効成分に関する理化学的情報		一般名：アズレンスルホン酸ナトリウム (Sodium Azulene Sulfonate) 化学名：Sodium 1,4-dimethyl-7-isopropylazulene-3-sulfonate 分子式：C ₁₅ H ₁₇ NaO ₃ S・1/2H ₂ O又はC ₁₅ H ₁₇ NaO ₃ S・H ₂ O 分子量：309.36又は318.36 構造式： <chem>C[C@H]1[C@H](CS(=O)(=O)[Na+])[C@H]2[C@H]1CC=C2</chem> · 1/2H ₂ O又はH ₂ O
性状：暗青色の結晶又は結晶性の粉末で、におい及び味はない。 メタノールにやや溶けやすく、水又は酢酸(100)にやや溶けにくく、エタノール(95)に溶けにくく、無水酢酸、ジエチルエーテル又はヘキサンにほとんど溶けない。 水溶液(1→200)のpHは6.0~9.0である。 光により変化する。		
厚労省コード		2260700F1056
規格・包装等		規格／10mL×10(本) JANコード 4 987094 850543 規格／10mL×30(本) JANコード 4 987094 850550 HOT番号／1170405010102 HOT番号／1170405010103
主要文献		〈主要文献〉 1) 社内資料 2) 社内資料 〈文献請求先〉 昭和薬品化工株式会社 〒104-0031 東京都中央区京橋二丁目17番11号 電話 0120-369873



発売元
昭和薬品化工株式会社
東京都中央区京橋二丁目17番11号

製造販売元
協和新薬株式会社
埼玉県草加市小山1丁目28番8号